

第3学年進路通信 ⑫

H28.2.10

第9回卒業証書授与式

代表生徒が決まりました！

〔卒業証書授与 代表〕

グローバル・コミュニケーション科

おぞね あおい
小曾根 葵 (1組)

文理総合科

いながき かずき
稲垣 和希 (2組)

〔特別賞 代表〕

たなか ともひろ
田中 智博 (7組)

*男子バレーボール部

第67回全日本バレーボール高等学校
選手権大会出場(平成26年度)

上原 圭太 (3組)

富岡 直哉 (4組)

秋山 慶太 (5組)

田中 智博 (7組)

*放送部

第62回NHK杯全国高校放送
コンテスト出場(平成27年度)

中村 優斗 (5組)

吉澤 直樹 (5組)

高島 一陽 (8組)

〔皆勤賞 代表〕

くりばら あんな
栗原 杏奈 (4組)

*76名(予定) ← 最後までがんばれ！

〔答辞〕



たかしま かずはる
高島 一陽 (8組)

(前 生徒会会長)

代表生徒は、クラス間のバランスに配慮しながら、総合的な見地から、左記のとおり、5名の諸君に決まりました。

なお、特別賞は、部活動で優秀な成績を収め、全国大会に出場した者という表彰規定に照らした結果、2つの部(7名)が対象となりました。

◇卒業証書授与式 次第◇

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. 卒業証書授与 (呼名は各学級担任)
4. 表彰状授与 (呼名は学年主任)
 - ・特別賞
 - ・皆勤賞
5. 校長式辞
6. 来賓祝辞
7. 在校生送辞
8. 卒業生答辞
9. 保護者謝辞
10. 校歌斉唱
11. 閉式の辞



入場・退場のしかた、呼名・返事のしかた等については、2月29日(月)13:00からのHRにて学級担任の先生から説明があります。よく聞いて、門出にふさわしい引き締まった式になるよう協力してください。

「はい！」という短い言葉に、諸君の思いを込め、大きな声で、先生にはもちろんのこと、御両親にも後輩たちにも、会場にいるすべての人々に届くよう発してください。



銅板 卒業生の氏名を刻字し、管理棟一階の廊下に掲示されます。やがて、第9期生も。

同窓会 期別幹事 決まる

同窓会 第9期幹事

1組	松浦	佳蓮
2組	長沼	秀真 (代表)
3組	上原	圭太
4組	茂木	拓也
5組	堤	彩乃
6組	高橋	里帆
7組	貫井	義規
8組	高島	一陽

母校と同窓生との架け橋として世話役をつとめてもらいます。よろしくお願いします。
他の諸君もぜひ協力してください。

『ようこそ先輩!』派遣

母校の小学校で恩返しを

『平成27年度ようこそ先輩!』は、群馬県教育委員会が推進する「高校生ボランティア・チューター 小学校派遣事業」のことで、この事業は、進路先が内定した高校生が、母校の小学校で教育活動の補助を行うことによって、社会性を伸ばし自己を生かす能力を養うというものです。

伊高からは毎年度、参加しており、今年度は、下記の7名の諸君が手続をし、2月15日～26日の2週間、それぞれ懐かしい母校で活動してくるになっています。将来、教職に就くことを希望している生徒にとってはもちろんのこと、そうでない生徒も自分の可能性を探る良い機会だと思います。

そして、何よりも、大学進学の前前期にこのような貴重な体験をすることによって、きっと4月からはより積極的な気持ちで、次のステージに臨めることでしょう。

1組	大澤	玲美
1組	小曾根	葵
1組	木村	瑠里
2組	酒井	理子
3組	上原	圭太
6組	石坂	涼
7組	篠原	瑠那



学校評議員会でスピーチ

1月22日(金)、第2回学校評議員会が行われました。その中で、3年生の生徒との懇談の時間が持たれました。下記の6名の生徒諸君が出席し、各々が5分程度のスピーチをし、伊高での生活を振り返り、さらに将来に向けての抱負を述べました。

伊高での生活がいかに自分自身を成長させたかについて自分の言葉で堂々と語る姿に、出席していた誰もが大きな感銘を受けたものと思います。

「伊高を選んで正解でした」と言わんばかりの、生徒諸君の気持ちがひしひしと伝わってきて、司会進行役として居合わせた私(学年主任)は何とも言えぬあたたかさを覚えました。

大澤	玲美	(G.C.科 1組)
小曾根	葵	(G.C.科 1組)
稲垣	和希	(文理総合科 文系 2組)
酒井	理子	(文理総合科 文系 2組)
高島	一陽	(文理総合科 理系 8組)
山下	茉里萌	(文理総合科 理系 8組)

『卒業生の話聞く会』

卒業後の3月17日(木)6・7限に多目的棟3階にて、現2年生に向け、進路実現を成し遂げた先輩としてアドバイスする『卒業生の話聞く会』が企画されています。

思い返せば、諸君も1年前に同じことを先輩たちからしてもらっています。おそらく進学準備に忙しい頃かと思いますが、依頼される8名の生徒諸君は、成功例も失敗例も含め、自分が努力してきた過程をしっかりとまとめて話してください。

同じ学舎で生活をともししてきた先輩たちのアドバイスを後輩たちはきっと頼りにするはずです。卒業後は後輩たちの頑張る様子に触れ、誇らしい気持ちを感じることでしょう。同窓生としてそれは何年経っても変わらないと思います。卒業したら、母校のために陰に陽に協力的であってほしいと思います。

『合格者からのメッセージ』執筆依頼

『平成28年度 進路の手引き』に掲載される「合格者からのメッセージ」の執筆を依頼される24名の生徒諸君についても、何かと忙しいでしょうが、新鮮な気持ちが薄れないうちに、しっかりと書き留めてほしいと思います。

教室棟3階と多目的棟3階

Gaps of Communication 科・分離総合科

自分が所属するクラスの教室に朝と帰りのSHRの時にしか入らない。昼食も別室でとる。・・・

大学入試センター試験が終わった翌日から始まった特別編成カリキュラムⅡ。この時点で、既に進路先が決定している生徒と未だ決定していない生徒とを完全分離し、前者は多目的棟3階へ移動し、後者は教室棟3階のいずれかの教室にて一日を過ごす。一昨年度にならい、たいへん大胆な形でカリキュラムを組み直しました。2月9日までの3週間余りの期間限定版です。

進路決定組の時間割は、将来の就職試験を想定した英・数・国の「一般教養講座」、進学先から入学前に課されている課題に取り組んだり、進路に関わる勉強をしたりする「自学自習の時間」、「映画鑑賞の時間」、「体育の授業」によって編成されています。一方、進路未定組は、私立大・国公立大入試を見据えての「完全選択制の授業」、「自学自習の時間」、「体育の授業」を組み合わせた時間割となっています。

さまざまな人々で構成される人間社会の中で自分自身の立ち位置をどのように確立していくか、そのための能力を身につけさせることが教育の役目であることは言うまでもありません。その意味からすれば同じ学校・同じ学科の生徒を分離するような措置は決して望ましいとは言えないでしょう。しかし、両者の置かれた境遇の違いからモチベーションに差が出てくるのは当然です。したがって、この数週間に限っては、あともう少しで目標達成できそうな生徒の目の前の利益を確保・保障してあげるために特別な措置をとっている旨を理解してほしいと思います。

2月11日より

家庭学習期間

に入ります。

建国記念の日2月11日(木)より2月28日(日)まで家庭学習期間となります。

身も心も無事に、2月29日・3月1日の両日に登校するために留意すべきことを挙げます。



(1)インフルエンザ流行

高校生活最大の行事である卒業式に参加できないことほど辛いことはありません。

(2)自動車運転免許

これまで歩行者や自転車の目線しか持ち合わせていなかった諸君が、教習によって自動車運転手の気持ちがわかるようになったと思います。現在までに約100名の諸君が教習しています。

正確な統計についてはわかりませんが、交通事故がなくなったように感じます。このことに限らず、相手の立場を理解することはとても大切なことです。

なお、運転免許を取得しても、実際に運転できる場合は極めて限られています。面接で確認した誓約事項を厳守すること。

(3)国公立大学を目指す諸君へ

伊高生の私立大受験は今週(2月第2週)でほぼ終了します。その後、国公立大学前期日程まで10日程度あります。この期間の過ごし方がきわめて大切です。

私立大に合格すると、あたかも受験から解放されたかのような気持ちになり、国公立大に向かっていく気持ちが萎えてしまいかねません。諸君がそうなることによって、喜ぶ受験生が世の中にはたくさん存在します。ここで諸君の精神力が試されるのです。

家庭学習入りしてから自ら登校し、先生方に質問したりすることで、緊張の糸を切らずに国公立大学にチャレンジしてほしい。

※今月の校地・校舎立入制限がある日

2/12・13・14・15・19

進学に向けて着々と

大学入学直後のテスト対策

大学入学直後に早速、テストを実施しクラス分けをするところがあります。いわゆる面倒見が良い大学では選抜クラス・コースを編成することが多いようです。厳しい言い方ですが、その結果は、数年後の就職に直結していきます。スタートが肝心です。

学費免除

特待生入試に見事に合格した諸君がいます。しかし、入学時に特待生になれなかった人でも決してあきらめないことです。その後の努力しだいでは学費を免除されるチャンスがあります。不本意ながら私立大に進学することになったと感じている諸君の奮起を期待します。

パソコンスキル

大学での授業を考えると、ワードやエクセル、パワーポイントのスキルを高めておくことが必要です。高校のように、プリントやノート提出するのではなく、ワードを短期間で作成し、提出することが求められます。1年次から少人数からなるゼミナールが設定されている大学もあり、そこでは常に人前で発表しなければなりません。



自宅を出ての新生活

まず、住居を決める。カーテンや家具、家電製品も調達しなければなりません。そのほか、新生活に向け、準備すべきことは思いの外たくさんあり、また、出費もかさみます。5年前、東日本大震災にみまわれ、新生活のスタートが困難を極めたことを思い出します。あの時は、大学の入学式も延期されました。

2月29日（月）の日程

13:00 SHR 上履きは体育館シューズ

※代表生徒は 12:00 体育館集合

13:55 卒業生入場準備

14:10～15:00 卒業式予行

（この中で、卒業記念品贈呈、表彰伝達がある）
休憩をはさんだ後、

15:20～ 同窓会入会式

- ・期別幹事紹介〔8名〕
- ・幹事代表挨拶〔2組 長沼秀真〕
- ・特別表彰

◇特別表彰者◇

＊男子バレーボール部〔4名〕

- 上原 圭太 （3組）
- 富岡 直哉 （4組）
- 秋山 慶太 （5組）
- 田中 智博 （7組）〔代表〕

＊放送部〔3名〕

- 中村 優斗 （5組）
- 吉澤 直樹 （5組）
- 高島 一陽 （8組）

＊ハンドボール部男子〔7名〕

- 倉沢 真滉 （1組）
- 大矢 健人 （2組）
- 松本 樹 （2組）
- 吉岡 拓哉 （3組）
- 山崎 雄策 （4組）
- 村山 嵩道 （6組）
- 瀬川 翔 （8組）

＊陸上競技部〔1名〕

- 大野 佑太 （4組）

＊弓道部〔1名〕

- 中島 舜 （6組）

＊インターナショナル部〔1名〕

- 梅内ヴィクトル健吾（1組）

以上 17 名

予行の日は、寒ければ、タイツ、カーディガン等、規定の範囲内での服装は認められています。ただし、頭髮などについては、翌日の卒業式本番に合わせ、きちんと整えて来よう。

なお、卒業証書授与式では、儀式としての身だしなみで臨むことになります。

本日 2月10日（水）の日程

・登校時、クツ箱を空ける。

（クツは各教室のベランダへ）

・SHR後、多目的棟3階へ移動する。

1限 年金セミナー（前橋年金事務所 総務調整課）

2限 有権者教育（公民科担当 柴崎先生）

3限 学年集会

- ・生徒指導主事より 10:55-11:15
- ・学年主任より 11:15-11:30
- ・その他

終了後、イス片付け（担当は1組と3組）

4限 清掃（教室棟を中心として静かに行う。）

クツ箱の清掃も行う。

“立つ鳥跡を濁さず”の精神で。

（金曜日の前期選抜会場準備を見据えた清掃）

終了後、LHR。のち、放課となる。

※私物を完全に片付ける。

※体育館シューズのみクツ箱に入れておく。

※自転車鑑札カバーシールを貼付する。

放課後、以下の生徒は指示連絡あり。

①進路指導関係の代表生徒

②「ようこそ先輩！」派遣生徒

③答辞指導（高島一陽）